

牧師室から (2021.3.14)

夜空では冬の冬の大三角もそろそろ幕引きである。少し前まで、オリオンの肩というか脇のところの赤い星ベテルギウスが、暗くなっているのが話題になっていた。言われてみると、海老名ではよく見えるが、確かに大阪にいた時には、私の目では見えにくかったので真実味があった。その頃、もしかすると近いうちに、超新星爆発をするのではないかということも言われた。でも私どもが生きているうちには、その爆発は見えないかも知れないという見解が有力になり、少しテンションが下がっている。

西洋では昔から人はオリオン座を見て、勇ましい姿を想像していた。もしベテルギウスがなくなれば、先達が描いてきたイメージが失われることとなる。そう思うととても残念である。私たちも冬の大三角として習ってきたが、それはそれでしょうがない。

因みにオリオンの腰に当たる三ツ星のベルトの辺りにあの M78 星雲があるのを、小学生の時に天文ガイドを見て知った時には、大きな発見をした気持ちになったのを憶えている。(定期的に特撮のウルトラマンシリーズを、テレビでリアルに見て興奮していたのは私の世代ぐらいまでであろうか。実をいうと私はウルトラマンより怪獣の方が好きで、怪獣のカードを集めて身長、体重、得意技などを一所懸命に覚えていた)

主はヨブに言われる。「すばるの鎖を引き締め/オリオンの綱を緩めることがお前にできるか。時が来れば銀河を繰り出し/大熊を小熊と共に導き出すことができるか。天の法則を知り/その支配を地上に及ぼすものはお前か。(ヨブ 38:31~33)」

ヨブは主に恐れながら答える。「あなたは全能であり、御旨の成就を妨げることはできないと悟りました。(ヨブ 42:2)」まさに、私たちの告白でもある。